

木のレジスター(引出しが出ない)

ゆきや (2023.06.22)



素朴な温かみのある木製のレジスターです。
テンキーのボタンなども木製です。



そのボタンの不具合です。

どのボタンも押して遊ぶだけで、
電氣的に反応するものではありません。

右下の **¥** のボタンは完全に落ち込んでいて、**OPEN** を押しても、引出しが出ません。
数字**②**のボタンも半ば落ち込んでいます。

ボタン群を後ろから押しているゴムが劣化するか、切れているのでしょうか。



レジスター全体が木製で、材がすべて接着されているため、分解は出来ません。手が入れるように、カッターで背面を大きく切開しました。底の引出しが見えています。

背面には大きな板バネが付いていました。

OPEN ボタンが押されるとロックが外れ、板バネが引出しを前に押し出すのです。



先にこの引出しのメカについて見ておきましょう。

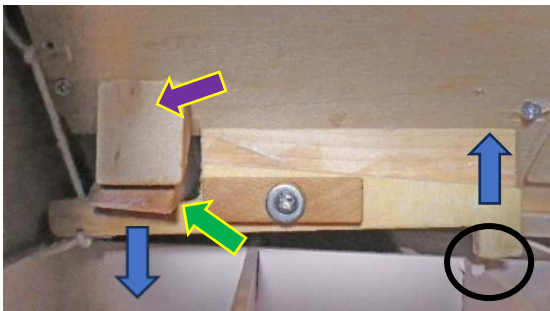


引出しをロックしているのが、中央をネジで止めているこのレバーです。ネジを中心にしてシーソーのように動きます。左端に輪ゴムが見えます（黄丸）。赤矢印の所に、伸ばして留められていた筈ですが、今はゴムが切れています。

ゴムの役割は二つあります。

① レバーを引っ張って、右端の突起を下に動かし、引出しをロックする。（青矢印）

② 緑矢印のパーツを介して、表面にある **OPEN** ボタンを押し上げる。紫矢印はガイド役です。



ゴムを、少し太く丈夫なゴム紐にしてみました。**OPEN** ボタンを押すと、緑矢印のパーツがレバーを押し下げ、青矢印のように動いてロックを解除。背面の板バネの力で引き出しは押し出されます。

逆に引出しを押し入ると、レバーが引き出しの黒丸印にはまり込んで、ロックされます。

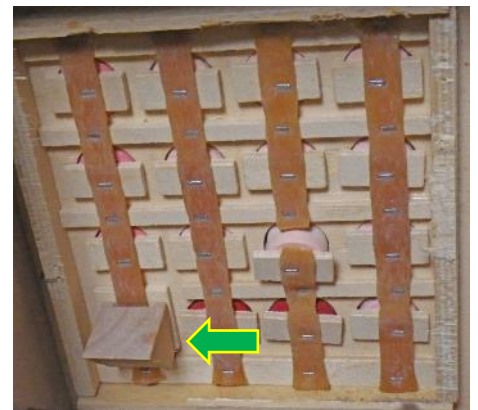
テンキーの裏側は、1枚板でカバーされていました。



それを外したのが右の写真です。キーが一つ一つ、ホッチキスで生ゴムのベルトに留められていました。

OPEN ボタンだけ、裏側にレバー操作のパーツ 緑矢印

が付いています。レバーを滑らかに押すように、先端が斜めにカットされています。グリースを塗っておきました。



生ゴムが切れている所がありました。

陥没していた数字②のボタンの裏側です。

また、その下の赤い **小計** ボタンの裏側の生ゴムも、弱って細くなっています。このままだと切れてしまうでしょう。

他にも弱っている所が3か所ほどありました。

これをどうやって復旧するか？修理方法をあれこれ思案する内に、まことにあっけないことに気が付きました。





百均の輪ゴム売り場に、幅の広い輪ゴムバンドが売られていたのです。これはおよそ12ミリ幅のもので、15本入って110円です。もっと広い20ミリ幅もありましたが、この場合は、12ミリが最適でした。輪を切り開くと長さ12センチ、1列全体をカバーすることができます。



切れている所、弱っている所、全体に新しいゴムバンドを貼りました。厚みは1ミリも無いから、裏板にも影響しません。

接着剤は、ボンドのG17を使いました。

問題がもう一つ残っていました。大きく切開した所の復元です。板バネの力を支えるだけの強さが必要です。接着剤で貼るだけでは済みません。切開部分の両側に、裏から補強材を貼り足しました（橙丸印）。ここに外した裏板をねじ止めして、修理完了しました。



以上